※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０３

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高等学校　数学Ｂ」　（数研出版）						
副教材等	新課程　教科書傍用　3TRIAL　数学Ⅱ＋Ｂ（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と共同で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を考える→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といったPDCAサイクルの過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。
・問題集用のノートを用意してください。
問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、自分で答え合わせをしてください。そして、間違った問題を解決する方法をノートに書きましょう。PDCAサイクルができるノートにしましょう。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。

２　学習の到達目標

数列、統計的な推測について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。
（１）　数学的な基本的な概念や原理・原則を体系的に理解する。（知識及び技能）
（２）　さまざまな問題に対して論理的に考察し、表現できる。（思考力、判断力、表現力）
（３）　数学的根拠に基づいて判断できる。また、問題解決の過程を振り返り、自分で考察し評価・改善ができる。（主体性）

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を説明したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	第１章　数列	第1節 等差数列と等比数列 第2節 いろいろな数列	a: 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求めることができる。 b:数の並びの規則性を推定し、隣接する項や一般項、それらの和を考察できる。 c:数の並び方や数列の和の求め方に興味を持ち、規則性や公式を導こうとする意欲がある。 a:いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解している。 b:数列の和を記号Σで表現したり、階差数列を利用して規則性を発見したりできる。 c:和の公式に興味を持ち、隣接２項間の差から規則性を発見しようとする。	確認テスト 定期考査	問題集 定期考査	問題集 ワークノート
２学期	第１章　数列	第3節 漸化式と数学的帰納法	a:漸化式について理解し、事象の変化を漸化式で表したり、簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりすることができる。数学的帰納法について理解している。 b:初項と漸化式で数列が定義されること理解している。自然数の性質を見いだし、それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに、他の証明方法と比較し多面的に考察することができる。 c:工夫を要する複雑な漸化式について、考察しようとする。数学的帰納法を用いて、いろいろな事柄を証明しようとする。	確認テスト 定期考査	問題集 定期考査	問題集 ワークノート

※令和４年度以降入学生用

	第2章 統計的な推測	第1節 確率分布	a:確率変数と確率分布について理解している。二項分布と正規分布の性質や特徴について理解している。 b: 確率分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察することができる。 c:２項分布や正規分布に興味を持ち様々なデータについて考察しようとする。	確認テスト 定期考査	問題集 定期考査	問題集 ワークノート
3学期	第2章 統計的な推測	第2節 統計的な推測	a: 標本調査の考え方について理解している。正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解している。 b:推定や信頼区間、仮設検定の考え方がわかる。標本調査の方法や結果を批判的に考察することができる。 c:統計的な推測の考えを用いて事象を考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしている。	確認テスト 定期考査	問題集 定期考査	問題集 ワークノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度